

1周年を祝う
〜峰ファミリアパーク直売所〜



もちまきも盛況でした

5月3日、峰ファミリアパークで直売所の1周年祭が行われ、地場の海産物や野菜などの販売や特産品当選券入りのもちまき、魚釣りゲームなどが行われ、大勢のお客さんで賑わいました。
直売所を運営しているのは、峰ファミリアパーク直売所利用組合（岡野勝幸会長・会員38名）で、地元の新鮮な海産物、野菜を販売しています。
1周年祭で、岡野会長は「会員一同、これからも安心して食べていただける品物を提供してまいります。直売所のご利用、ご愛顧をお願いいたします。」とあいさつをしました。

【問合せ先】直売所
0920-830525

はつらつプレーで全国大会へ
〜県ねりんピック大会〜

5月14日、県立総合運動公園をメイン会場に、第2回長崎県ねりんピック大会が開催され、対馬市から10種目に40人が参加しました。

対馬選手団は、各種目ともはつらつとしたプレーで、剣道の平山米茂選手（厳原町）、ゲートボールで久原東光選手（上県町）が、第18回全国健康福祉祭福岡大会の出場権を獲得しました。



開会式



ハツラツプレー

乙宮地区優勝
〜豊玉町民体育祭〜

4月29日、みどりの日に、恒例の豊玉町民体育祭が豊玉中グラウンドで、町内を5ブロックに分けて競技が行われました。

今年も、応援に駆けつけたチビッコからお年寄りが、フィールドとトラックに熱戦を繰り広げる選手に、熱い声援を送りました。

優勝は、男子の部で圧倒的な強さをみせた乙宮地区が総合優勝を飾りました。



もうすぐバトンタッチ



見事なジャンプ

楽しくプレー
〜峰町ランドゴルフ大会〜

誰でも気軽に楽しめるランドゴルフを通して、交流と親睦を深めようと、5月8日、峰町運動公園陸上競技場と西部中グラウンドを会場に、第4回峰町ランドゴルフ大会が開催されました。大会には、峰町内の各地区から28チーム、168名が参加して子どもからお年寄りまで楽しくプレーをしていました。

ゲームでは、若い人より、ランドゴルフやゲートボールに慣れたお年寄りの方が、障害物が置かれた難コースにも冷静に対応し、よいスコアを出していました。



草がじゃまやねえ〜

真剣な取り組み
〜上対馬地区消防団員研修〜

4月24日、新入団員と中級幹部を対象とした上対馬地区消防団員研修が行われました。この研修では、火災時の対応方法や心掛け、礼式の訓練が行われたほか、救命講習でAED（心臓電気ショック機械）の講習が行われ、緊張感の必要な研修に、団員の皆さんは真剣な態度で取り組んでいました。



救命講習に真剣にとりくむ団員の皆さん

救助技術競う 消防救助技術指導大会

4月25日、対馬市消防本部で、署員の救助技術向上のため、第11回消防救助技術指導大会が行われました。

大会は、「はしご登はん」の部に4名、ほぶく救出の部に5組が出場して競技が行われ、15mの垂直はしごを駆け上る「はしご登はん」の部では、豊玉出張所の阿比留史博消防士長が、標準タイム24秒を大きく上回る15秒55で優勝しました。



空気呼吸器を装着して8mの煙道を通って救助を行う「ほぶく救出」の部では、美津島出張所の永留和秀消防士長、稲葉克明副消防士長の組が、昨年の優勝タイムを上回る37秒91で連覇を果たしました。



機敏なロープさばき

また、それぞれの優勝隊員らは、5月13日に大村市の県消防学校で行われた「第22回消防救助技術指導大会」に出場し、ふたつの部門とも9位入賞の成績を上げました。

防災を考える 対馬市防災会議

5月10日、対馬市消防本部で、対馬市防災会議が開催されました。

会議には、松村市長をはじめ市の担当者、自衛隊、警察、消防、測候所など災害時に連携が必要な関係機関から約50

名が出席し、対馬市地域防災計画について審議されました。関係機関の役割や業務について確認されたほか、防災計画の内容について審議され、委員からは「より迅速に患者を運べる方法を考えてほしい」、「災害を防ぐことだけでなく、災害後の対応にもお金をかけてほしい」、「防災計画の市民への広報はどうなっているのか」など活発に意見が出されました。

対馬市では、防災計画が県の防災会議で協議され、計画が承認され次第、市民の皆さんにその概要をお知らせするように計画しています。



市長の動き

《5月》

2日 市民生児童委員協議会
連合会理事会



3日 峰町ファミリアパーク
直売所開設1周年祭



6日 99歳到達者褒状贈呈

10日 対馬流域森林・林業活性化センター総会、対馬市防災会議、市長と語る「収録」

11日 対馬市町村社会福祉振興財団理事会・評議委員会、県市町村土地開発公社関係総会、県市町村長会議、県離振

11日 対馬市町村社会福祉振興財団理事会・評議委員会、県市町村土地開発公社関係総会、県市町村長会議、県離振

協議会理事会・総会
(長崎)

13日 特別職報酬等審議会

14日 市民球団 対馬まさかりドリームス「デー」

16日 99歳到達者褒状贈呈

17日 交通バリアフリー化離島報告会(福岡)

九州市長会 (大分)

20日 九州釜山観光マーケティングフォーラム、日本歌謡大会(釜山)



23日 市議会議員当選証書付与式

24日 内閣府との協議

26日 ロシア大使歓迎レセプション

27日 日露対馬沖海戦100周年慰霊祭

28日 日露対馬沖海戦100周年記念講演

29日 市民いきいき健康づくりグランドゴルフ春季大会

29日 市民いきいき健康づくりグランドゴルフ春季大会

人権を守る

一人権擁護委員協議会総会

4月26日、対馬人権擁護委員協議会総会が美津島で行われ、16年度の事業報告や17年度の計画、正副会長の選任などが話し合われました。

決定された17年度の主な事項は、「人権の花」指定校に金田小、大調小、大船越小、小綱小、佐須奈小、豊小の6校が指定され、ひまわりやコスモスなどの種の配付が行われます。また、人権カレンダーの作成や人権相談などの実施が決定されました。また、会長には長信一さん(久田)、副会長に西山悦子さん(雑知)が選任されました。

協議会では、人権相談月から金曜日除く)の午前8時半(午後5時まで)を行っていただきます。お気軽にご相談ください。



西山副会長



会長

【人権相談などの問合せ先】
長崎地方事務局対馬支局
総務 山口
092005216463

【人権擁護委員の連絡先】

《厳原地区》

長 信一(久田)

52 1366

永尾 五助(豆敷)

57 0300

平山三智子(久田道)

52 1251

《美津島地区》

西山 悦子(雑知)

54 3828

中山 精治(雑知)

54 4353

《豊玉地区》

築城 守昌(千尋藻)

58 0232

《峰地区》

阿比留義教(三根)

《上県地区》
83 0035

廣澤 秀夫(佐須奈)

84 2020

前野美保子(佐須奈)

84 2124

《上対馬地区》

菅野慶全(比田勝)

86 2312

古藤朋子(舟志)

86 3028

対馬市商工会総代会



あいさつする長町会長

5月11日、美津島で対馬市商工会(長町忠一会長)の平成17年度(第2期)通常総代会が行われ、長町会長は、「商工会も観光事業と協力して交流人口の増加を図りたい。本日は、いくつかの課題を踏まえながら議案を掲げています。十分な審議をお願いします」とあいさつしました。

総代総数120名中110名(委任

40名)が出席して平成16年度の収支決算、平成17年度の事業計画、収支予算などが審議されました。

また、商工会の運営、振興に功労のあつた9名の方に感謝状が贈られました。

【功労者名簿】(敬称略)
吉永和夫(厳原) 岸原福彌(厳原) 伊藤浩(美津島)

佐伯巖(豊玉) 田中長(豊玉) 橋本文一(峰) 庄司信一(上県) 渡邊藤夫(上県) 脇本弘美(上対馬)

白寿(99歳)のお祝い

5月に、市内の4名のお年寄りに白寿百の字から一をとると白になり、あと一歳で百歳になることからこう呼ばれています。(のお祝いで、松村市長から敬老祝い金が贈られました。仲山キヨノさん(今屋敷) 明治39年3月4日生れ、TVで時代劇を見たり、縫い物を楽しんでいます。



青木スエさん(雑知・日の出) 明治38年5月25日生れ、95歳までお茶の先生、今は毎日絵を描いています。



橘 熊助さん(今里) 明治39年3月20日生れ、まだまだ元気です。ゲートボールが好きです。



阿比留カツさん(新鴨居瀬) 明治39年1月15日生れ、食事はしっかりとっています。飴が大好きです



未来のエネルギー・
海洋温度差発電

4月26日、対馬市商工会蔵原支所で、海洋温度差発電研究の第一人者で前佐賀大学学長の上原春男さん（65歳・厳原町瀬出身）の「21世紀と海洋温度差発電」をテーマにした講演がありました。



講演する上原春男さん

海洋温度差発電（OTEC）とは、太陽熱で温められた表層水と冷たい深層水との温度差を利用して発電するもので、自然循環型の環境に優しい新技術です。

上原先生は、「21世紀の自然エネルギーは水素や水であり、その水を補強できるのは海水です。発電過程で得られ

る深層水は栄養分を豊富に含み、海に戻せば新たな漁場の形成にもなります」と説明しました。

対馬市では本年度、海洋温度差発電の可能性を探るための調査業務を行う予定です。

上原先生は、効率よく発電する新システム「ウエハラサイクル」を考案し、現在NPO法人・海洋温度差発電推進機構理事長を務めています。

貴重な文化財展示
「発掘文化財巡回展示」

市内の遺跡から発掘された文化財を展示する「発掘された日本列島（対馬編）2」が5月9日から各支所を巡回して市民の皆さんに公開されました。

公開されたのは、今屋敷家老屋敷遺跡、金田城跡、三根遺跡から発掘された文化財で、中国龍泉窯の青磁や景德鎮の青花（磁器に絵付けしたもの）、須恵器（古墳時代の土器）、陶質土器（朝鮮半島で作られた土器）、鉄斧や刀子（小刀やナイフ）などの鉄製品が展示されました。



熱心に見入る子どもたち



国指定史跡 矢立山古墳が
名称変更と区域拡大しました

5月20日、国の文化審議会は、国指定史跡矢立山古墳（厳原町金田小から西に約400m）の区域追加指定と名称変更を文部科学大臣に答申しました。



矢立山古墳の現況（3号墳）

矢立山古墳は、2号墳が全国的にもめずらしい平面がT字形の石室を持ち、1、2号墳ともに古墳文化を理解する上で重要な意味を持つことから、昭和51年12月27日に国史跡に指定されました。

今回の追加指定の範囲は、平成13年度の内容確認調査で、積石塚長方形墳であることが明らかになった3号墳とあわせて1号墳、2号墳、3号墳をとりまく周辺の区域です。また、名称が「矢立山古墳」から「矢立山古墳群」に変更されました。

今後、対馬市では、矢立山古墳群の復元、説明板の設置、遊歩道整備など環境整備を進めていきます。